

令和7年度  
西区地域包括ケア  
推進事業報告書



西区キャラクター  
「ぷりむらん」



西区地域包括ケアキャラクター  
「みまもりパンダ」

西区地域包括ケア推進会議

# 目次

## 1

### 西区地域包括ケア推進体制

- 1 全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 地域ケア会議の開催
  - (1) 会議開催状況一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - (2) 個別地域ケア会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## 2

### 事業及び活動報告

- 1 つながり支え合う地域づくり
  - (1) 「地域のつながりづくり、を考えるセミナー」・・・・・・・・ 5
  - (2) 地域支えあい事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (3) 地域活動きっかけづくり講座・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (4) サロン担い手交流会（も～やっこサロンd eサロン）・・・・ 8
  - (5) も～やっこ・あんしんバトン・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2 認知症施策の推進
  - (1) 認知症初期集中支援チーム・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - (2) 認知症カフェ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
  - (3) 認知症サポーターフォローアップ及びチームオレンジ・・・・ 13
  - (4) おれんじドア も～やっこなごや・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
  - (5) 認知症月間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
  - (6) 認知症なんてどうってことない 西区おもいやりのまち宣言及び推進月間・・・・ 17

### **3 フレイル予防の推進**

- (1) も～やっこ健康まちづくり座談会 . . . . . 20
- (2) も～やっこ体操サロン出張講座 . . . . . 21
- (3) ウォーキング教室 . . . . . 21
- (4) いきいきメンズ教室 . . . . . 22
- (5) フレイル予防講演会 . . . . . 22

### **4 在宅医療・介護連携**

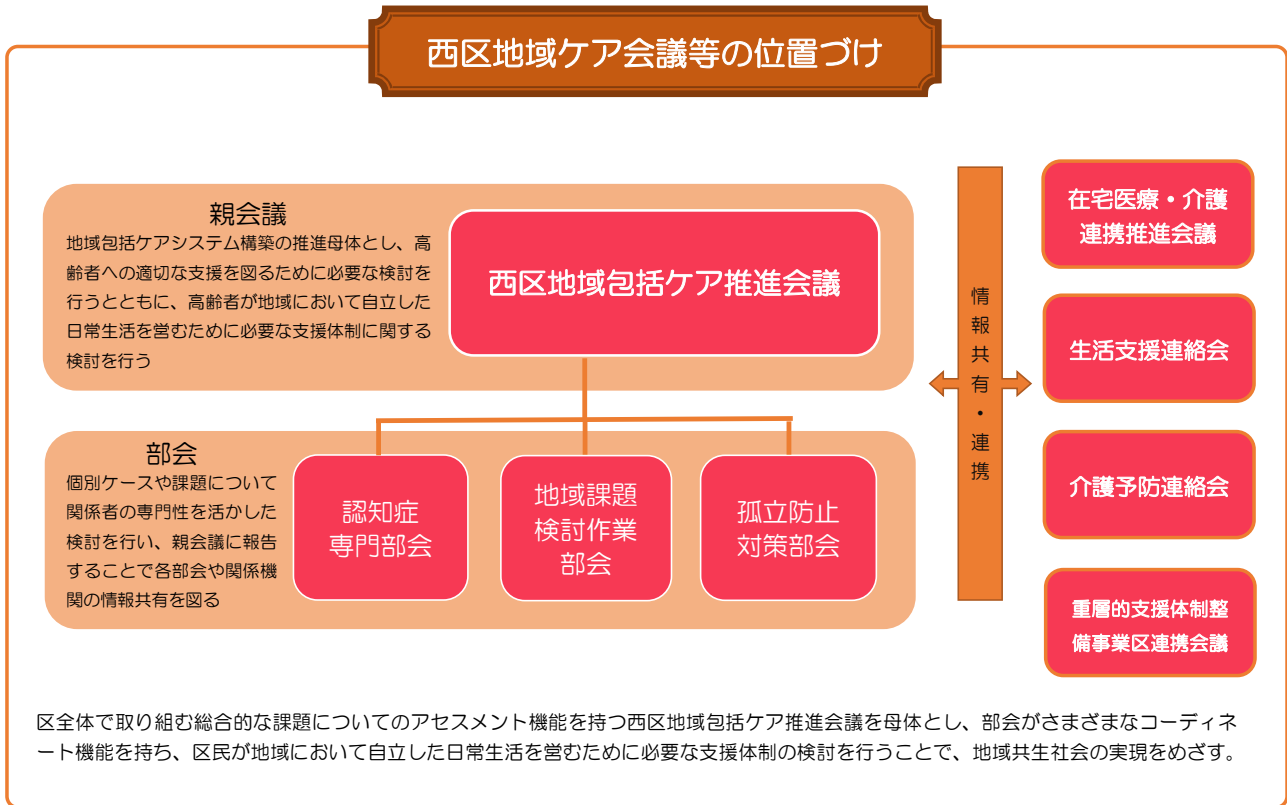
- 名古屋市はち丸在宅支援センター . . . . . 23

# 1

## 西区地域包括ケア推進体制

### 1. 全体像

令和7年度以降



## 2. 地域ケア会議の開催

---

### (1) 会議開催状況一覧

月 日	事 項
4月21日	生活支援連絡会（第1回）
5月 1日	介護予防連絡会（第1回）
5月29日	認知症専門部会（第1回）
6月16日	地域包括ケア推進会議（第1回）
6月18日	生活支援連絡会（第2回）
6月18日	在宅医療・介護連携推進会議（第1回）
7月23日	重層的支援体制整備事業区連携会議（第1回）
10月 1日	介護予防連絡会（第2回）
10月30日	認知症専門部会（第2回）
11月 4日	生活支援連絡会（第3回）
2月 3日	介護予防連絡会（第3回）
2月 5日(書面開催)	孤立防止対策部会
2月18日	認知症専門部会（第3回）
3月 6日	地域包括ケア推進会議（第2回）
3月11日	重層的支援体制整備事業区連携会議（第2回）
3月12日	在宅医療・介護連携推進会議（第2回）

※一覧に加えて個別地域ケア会議を随時実施。

## (2) 個別地域ケア会議の開催状況

### ①個別困難ケースの検討

医療・介護・福祉サービスの提供だけでは解決困難な個別の事例を、医療・介護関係者、地域住民、本人・家族、行政で検討する会議を随時開催しています。

●開催回数：21回（15ケース）

#### ●主な参加者

民生委員、町内会長、地域住民、当事者親族、認知症相談支援センター、ケアマネジャー、介護サービス・障害福祉サービス事業所、行政機関 ほか

#### ●主な事例

- ・被害妄想や近隣への迷惑行為があり精神疾患の疑いがあるが、本人に病識がない高齢者への支援方法。
- ・高齢者と知的障害のある息子ら世帯の金銭管理を含めた生活支援

### ②地域課題の検討

個別ケース検討を重ねる中から出てきたり、高齢者を見守る地域関係者の声から出てきたりした地域全体の課題について、テーマに沿って関係者で検討する場を随時開催しています。

●開催回数：6回

#### ●主な参加者

民生委員、自治会長、郵便局、UR都市機構、ケアマネジャー、行政機関 ほか

#### ●主なテーマ

- ・高齢者独居世帯の現状と課題
- ・薬剤師とケアマネジャーの関わり方



### ③自立支援型個別地域ケア会議

自立支援・介護予防の観点で踏まえた多職種によるケース検討を行い、「高齢者の自立支援・QOL向上のための介護予防ケアマネジメント及びケアの充実」を目指します。また、介護予防ケアマネジメントにおける課題や地域課題の抽出を行います。

#### ●開催日

第1回：令和7年8月18日（月）

第2回：令和8年2月 3日（火）（見学者なし）



#### ●参加者

事例提供者	いきいき支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所
助言者	西区リハネット（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士） 西薬剤師会（薬剤師） 西保健センター（保健師、管理栄養士、歯科衛生士） 西区社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）
見学者	西区内の居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、通所事業所 福祉用具事業所

#### ●方法

事例提供者がケースの概要・生活課題・現在のサービス・本人の「望む暮らし」について説明し、助言者が自立支援のための助言を行う。

#### 【対象ケース】

要支援1、2の認定があり、介護保険サービスを利用中の方。

\* 処遇困難、認知症、精神疾患（未診断も含む）、難病、進行性の悪性腫瘍などを除き、普遍的な在宅ケースを対象とする。

#### ●検討ケースの例（80代女性 要支援1）

令和7年度に市外転入。利き手に痺れあり、変形性脊椎症にて腰痛・膝痛あり長距離歩くと痛みが出るが、外出意欲もあり自立度は高い。本人の「趣味を楽しみたい」という望みに対し、助言者からは、「支援者から社会資源情報を提供し社会参加を促すこと」や、「先を見据えて歯科受診や自助具使用を検討すること」等助言あり。

#### 【地域課題】

高齢者のみならず支援者も、地域の社会資源の情報へ容易にアクセスできない状況にあるため、地域の喫茶店や病院での周知など周知方法の検討が必要。

# 2

## 事業及び活動報告

### 1. つながり支え合う地域づくり

#### 課 題

- ・ 少子高齢化が進行し、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯が増加する中、地域でのつながりの希薄化に伴い、孤独・孤立の状態に陥りやすい高齢者世帯が増加しています。
- ・ 困りごとや悩み気軽に相談でき、また住民同士が支え合い助け合える地域づくりが必要です。

#### 取 組

#### (1) 『地域のつながりづくり』を考えるセミナー

地域住民（区政協力委員、民生委員等）、区内福祉施設、サロン運営者などを対象に、『地域のつながりづくり』について考えるセミナーを開催した。

- 開催日時：令和7年12月17日（水）  
14時00分～16時00分
- 開催場所：西区役所2階 講堂
- 参加人数：45名

#### ●内 容：

#### 【テーマ】

「防災をテーマに、住民・施設・企業みんなで地域のことを考えよう  
～東海豪雨を経験した企業の取り組みとともに～」

#### 【登壇者】

- ①弁護士法人あゆの風法律事務所  
弁護士 山田麻登 氏
- ②有限会社菊池運輸  
代表取締役 菊池智志 氏
- ③山旺理研株式会社  
代表取締役 松浪秀晃 氏



## (2) 地域支えあい事業

地域で生活する上で支援が必要な高齢者のちょっとした困りごとを住民同士で助け合うための仕組みづくりである地域支えあい事業は、令和7年度は8学区で活動しています。電球の取り換えやごみ出しなどをご近所同士で助け合い、見守りにもつながっています。

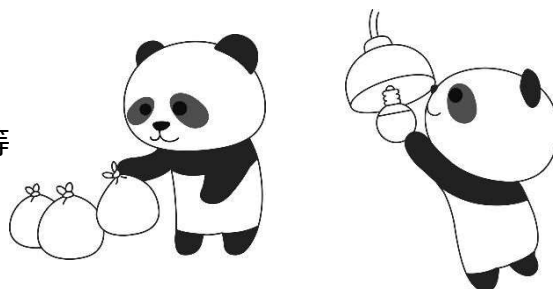
●令和7年度の実績（8学区）

※令和8年3月末現在

実施学区	名 称 開始時期	ボランティア登録者数 (実人数)	地域活動推進員配置 日時・場所・体制
榎	榎ちょこっとお助け隊 平成23年12月	100人	毎週月～金曜日 9時～17時 榎コミュニティセンター 2人体制
城西	城西ふれあいサポーター 平成24年1月	156人	毎週月～土曜日 9時～17時 城西コミュニティセンター 8人体制
山田	山田こまりごとお助け事業 平成24年1月	180人	毎週火～日曜日 9時～12時 山田コミュニティセンター 2人体制
浮野	浮野うきうきおたすけ隊 平成27年5月	73人	浮野コミセン開設日 浮野コミュニティセンター 3人体制
比良西	比良西応援みのらせ隊 平成29年2月	205人	毎週火・木曜日 9時～12時 比良西コミュニティセンター 6人体制
児玉	こだま暮らしの相談センター 平成30年4月	370人	年間通じて相談可（携帯電話対応） 毎週木曜日 9時30分～15時30分 児玉コミュニティセンター 6人体制
上名古屋	かみな手をさしのべ隊 令和元年9月	175人	毎週月・金 9時～12時 上名古屋会館 5人体制
大野木	大乃伎しんせん組（絆）	65人	毎週月・金曜日13時～15時 大野木コミュニティセンター

●活動延べ人数：10,373人

- 活動事例
  - ・蛍光灯交換・家具の移動等
  - ・ごみ出し・買い物支援
  - ・庭木の剪定・小修繕



### (3) 地域活動きっかけづくり講座

地域共生社会の実現に向け、高齢者の方等が地域での活動に参加するきっかけをつくることを目的に、主に中高年層が関心を持っていただけそうな内容をテーマに開催しました。

#### ①マジックボランティア養成講座

マジックを活用してボランティア活動をする人材を育成するため開催しました。



#### ●開催日時・場所・内容

	開催日時・場所	内容
第1回	令和7年5月19日（月） 13時30分～	マジック勉強（3つ程度）・実践
第2回	令和7年5月27日（火） 13時30分～	マジック勉強（3つ程度）・実践
第3回	令和7年6月3日（火） 13時30分～	マジック勉強（3つ程度）・実践
卒業式	①令和7年6月27日（金） 城西コミュニティセンター ②令和7年6月30日（月） 榎コミュニティセンター	学んだことを生かして実際に人前で披露！！

#### ●参加人数：5名

#### ②男の料理教室

男性をターゲットに、簡単なおつまみづくりをとおして、仲間づくりのきっかけとすることを目的に開催しました。



#### ●開催日時・内容・参加人数

開催日時	内容	参加人数
令和8年1月15日（木） 13時45分～15時30分	・簡単健康おつまみ料理の調理 ・栄養講話	8名

### ③スマートフォン体験教室

高齢者等がスマートフォンの使い方や活用方法を学び、友人や地域コミュニティでの交流、地域福祉情報にふれる機会を増やすことを目的に講座を開催しました。



#### ●開催日時・内容・参加人数

	開催日時	内容	参加人数
第1回	令和7年11月27日（木） 13時30分～15時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージアプリの基本操作</li> <li>・デジタルリテラシー</li> </ul>	11名
第2回	令和7年12月15日（月） 13時30分～15時30分		7名
第3回	令和8年 1月30日（金） 13時30分～15時30分		5名

### (4) サロン担い手交流会（も～やっこサロンdeサロン）

サロン担い手の育成、サロン運営者及びその支援者同士での情報交換を目的に、集合形式で3回開催しました。



#### ●開催日時・内容・参加人数

	開催日時	内容	参加人数
第1回	令和7年7月29日（火） 13時30分～15時30分	サロンで使えるレクリエーション（コーンホール）・交流会	17名
第2回	令和7年11月13日（木） 13時30分～15時30分	サロンで使えるレクリエーション（百人一首）・交流会	8名
第3回	令和8年2月26日（木） 13時30分～15時30分	サロンで使えるレクリエーション（坊主めくり）・交流会	13名

## (5) も～やっこ・あんしんバトン


西区の独自事業として、「も～やっこ・あんしんバトン（救急医療情報キット）事業」を実施しています。

### ●事業内容

民生委員が65歳以上のひとり暮らし高齢者等に本人の医療情報や緊急連絡先等を記入するシートとそれを入れるバトンを配付する。記入したシートをバトンの中に入れ、自宅のわかりやすい場所（冷蔵庫など）に保管してもらう。急病・けがなど緊急時や災害時に、救助機関・医療機関などにシートの情報を活用してもらうことにより、より適切な対応につなげる。また、配付する際、民生委員とのつながりを強めることにより、地域の見守り支援活動を推進する。

### ●対象者

- ・65歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・その他、「も～やっこ・あんしんバトン（救急医療情報キット）」の配付が必要と民生委員が考える人

		重要		年	月	日	作成
		緊急時対応シート					
本人氏名 (同意欄)	容器の中に入っている救急情報を、救急隊員と搬送先の医療機関が救急医療に活用することに同意します。						確認 <input type="checkbox"/>
	本人氏名 (ふりがな)			代筆者名 (本人との関係)			
生年月日	年	月	日生	性別	男・女	血液型	
住所	名古屋市西区			電話番号	( )	-	
緊急連絡先氏名		続柄	電話番号		携帯電話番号		
①			( ) -				
②			( ) -				
③			( ) -				
かかりつけ医療機関 ①		かかりつけ医療機関 ②					
病院名							
診療科							
診察券番号							
医師名							
電話番号 ( ) -		( ) -					
持病 (今かかっている病気、過去の大病等)		常用している薬		救急搬送時の携行品			
※アレルギーもご記入ください。		※薬情報が分かるもの(薬袋等)を容器の中に入れても可。		<input type="checkbox"/> めがね <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 装具 <input type="checkbox"/> 在宅酸素ボンベ <input type="checkbox"/> ( )			
誰かに伝えておきたいこと (記入は任意です。また、必ず実行されるものではありません。)							
※財産の具体的な情報は盗難の恐れがありますので記入しないようにしてください。							

# も～やっこ・あんしんバトンの使用方法

西区では、急病・けがなどの緊急時や災害時に役立つ「も～やっこ・あんしんボタン」を、ひとり暮らしの高齢者の方などへ配付しています。

問い合わせ先：西区役所福祉課 Tel.523-4596 Fax 521-0067



玄関付近の目立つ場所に「ボタン」の置き場所を示すシール A を貼ります。



冷蔵庫など「ボタン」の置き場所に、シール B を貼ります。



「緊急時対応シート」を記入し、丸めて「ボタン」の中に入れます。ふたをしてシール C でとめます。



「ボタン」を冷蔵庫などに入れて完了です。「緊急時対応シート」の情報は最新のものにしましょう。

## 「ボタン」ご使用にあたっての西消防署からのお願い

- 救急隊は、ご本人等の同意を得ることなく、冷蔵庫等を開けて、「ボタン」を取り出すことがあります。
- 救急活動の状況によっては、「ボタン」を活用できない場合があります。
- 「ボタン」があっても、会話可能な場合は、救急隊からご本人に関する情報をお尋ねする場合があります。
- ご本人の傷病状態及び医療機関の受入状況によっては、記載された「かかりつけ医療機関」に搬送されない場合があります。

西消防署より  
大事なお話  
「警報機」

### 住宅用火災警報器を設置しましょう！

- 住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災を知らせてくれる警報器です。
- 住宅用火災警報器は機器の劣化や電池切れにより、火災を感知しくなくなります。  
10年を目安に交換をお願いします。



点検しましょう！  
ボタンを押すか、紐（ひも）を引っ張り、  
点検音の流れれば正常です。  
※機器によって点検音異なります。

警報機についての問い合わせ先 ▶▶▶ 西消防署 Tel. 521-0119 Fax. 532-0119

## 2. 認知症施策の推進

### 課 題

- ・高齢化の進展に伴い、認知症の人の数は今後も増加が見込まれる中、認知症と診断された人の早期支援につながる相談支援体制を充実させる必要があります。
- ・認知症の人や介護者が自分らしく暮らせるまちとなるよう、認知症に関する正しい理解の促進や、認知症の人や家族が安心して参加できる居場所の充実を図る必要があります。

### 取 組

#### (1) 認知症初期集中支援チーム

「認知症初期集中支援チーム」とは、複数の専門職が、認知症が疑われる方、認知症の方とその家族を訪問（アウトリーチ）し、認知症の専門医による鑑別診断等を踏まえて、観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行うことで自立生活をサポートするものです。チーム員は、認知症の専門医（認知症サポート医）や保健師、看護師、社会福祉士といった医療・介護の専門職で構成されています。

令和7年度の活動実績は以下のとおりです。対象者本人や家族の身のまわりの困りごと（生活上の課題）を把握し、受診の同行や医療・介護・福祉サービスへのつなぎを行っています。

地域の中で、認知症の方（疑いのある方）が医療・介護サービスの利用に至っていないことがありましたら、ぜひ、お近くのいきいき支援センターへの相談・情報提供をお願いします。

#### <令和7年度活動実績>

	北部いきいき支援センター	南部いきいき支援センター
サポート医	石黒 恭子（石黒医院）	宮尾 眞一 （名鉄病院認知症疾患医療センター長）
対象件数	20	27
新規件数	13	19
終結件数	19	20
訪問回数	113	106

## (2) 認知症カフェ

認知症カフェは、

- ① 本人同士の仲間づくりや生きがいづくり支援
- ② 介護する家族の負担軽減
- ③ 認知症状の悪化予防
- ④ 地域住民への啓発

などを目的に、認知症のご本人やご家族、地域住民や専門職等、地域の誰もが気軽に集い、楽しく過ごしながら仲間づくりや情報交換をする活動拠点として、多くの方にご参加いただいています。

区内の認知症カフェの情報や開設に関することは、いきいき支援センターにて引き続きご相談をお受けしています。

● 認知症カフェ登録数：15か所（令和7年度末時点）

● 認知症カフェ交流会の開催

開催日時	テーマ	参加人数
令和8年2月2日（月） 13時30分～14時30分 西区在宅サービス支援センター	・ 各認知症カフェの紹介 ・ 事業者同士の情報交換 ・ 周知方法の検討 ・ 西区認知症施策の紹介	6名



▲ 認知症カフェの様子



▲ 認知症カフェ交流会



### (3) 認知症サポーターフォローアップ及びチームオレンジ

#### ① 認知症サポーターフォローアップ

認知症サポーター養成講座を受講した方を対象として、フォローアップの学習会を開催することで、地域で認知症の方を支える担い手を発掘・養成するための講座を年3回開催しました。

#### ●開催日時・テーマ・参加人数

	開催日時	テーマ	参加人数
第1回	令和7年7月24日（木） 14時00分～15時30分 西区生涯学習センター	アルツハイマー病の新薬とMCIについて	36名
第2回	令和7年10月18日（土） 11月15日（土） 12月20日（土） 13時30分～15時00分	「おれんじドア も～やっこなごや」見学会 ～本人、家族の思いを感じよう～	11名
第3回	令和7年12月15日（月） 14時00分～15時30分	回想法について	19名



## ②チームオレンジの運営

チームオレンジとは、認知症の人や家族の支援ニーズと認知症サポーターの支援をつなぐ仕組みのことです。いきいき支援センターの認知症地域支援推進員がチームオレンジの立ち上げや運営を支援しています。

### ●チームオレンジ加入者

フォローアップ受講者の中で活動を希望された方を対象にチームオレンジへ加入いただいています。

令和7年度末時点の加入者数：計78名

### ●チームオレンジの活動

認知症カフェの運営にボランティアとして携わっていただいています。今後も区内各地の認知症カフェに取組みが広がるよう、また認知症カフェ以外の活動拠点の開拓に向け、検討して参ります。

### ●交流会の開催

開催日時	テーマ	参加人数
令和8年2月2日（月） 14時30分～15時30分 西区在宅サービス支援センター	・認知症カフェ・おれんじドアの紹介 ・参加者同士の情報交換（活動状況や やってみたいことの共有など）	8名



#### (4) おれんじドア も～やっこなごや

認知症当事者同士・家族同士で話ができる居場所「おれんじドア も～やっこなごや」は、当事者の方を代表として、平成29年6月に西区で開設されました。当事者や家族しか分からない悩みや想いを共有し、他の人の解決方法や楽しみする方法を知ることができます。

また、西区南部・北部のいきいき支援センターの専門職が参加しているため、当事者や家族が認知症に関して相談をしたいときにすぐに相談できることや、資料やちらし等もあり、行政が関わることで様々な支援につなげることが可能です。

「おれんじドア も～やっこなごや」の開設から今年で8年が経過しており、今後の運営方法、実施内容等については参加者の意見を聞きながら、改善・調整していきます。

- 開催場所：西区役所4階 多目的室
- 開催日時：原則毎月第3土曜日 13時30分から15時00分まで  
【臨時開催】令和7年9月2日（火） 13時30分から15時00分まで  
令和8年2月6日（金） 13時30分から15時00分まで
- 開催回数：14回
- 内容：当事者は当事者同士、家族は家族同士で空間を分けています。当事者席ではレクリエーションなどを行い、家族席では家族同士で話をします。最後に、取組んだ内容の振り返り及び参加者の皆さんで感想等の共有を行います。
- 参加者数：認知症当事者のべ41人、家族のべ86人



## (5) 認知症月間

令和7年4月の認知症条例改正により、9月が認知症月間に位置づけられたことを受け、西区においても認知症に関する啓発等に取り組みました。

### <推進月間 期間中の取り組み>

#### ①認知症に関するパネル展示・パンフレット等の配布

実施期間：令和7年9月1日（月）～9月30日（火） 区役所開庁時間中

実施会場：区役所、山田支所

展示内容：認知症月間の紹介、「あなたにできるワンアクション」の他、ケアパスやオレンジリング、各種制度についてのパネルを展示。

#### ②認知症関連動画の放映

放映期間：令和7年9月1日（月）～9月30日（火） 区役所開庁時間中

放映会場：西区役所1階 も～やっこ広場

内 容：

- ①認知症とともに歩む人のまなざしく～認知症とともに笑顔で生きる～>
- ②西区 認知症&フレイル予防withファイティングイーグルス名古屋

#### ③平日版おれんじドアの開催

日 時：令和7年9月2日（火） 13時30分～15時00分

場 所：西区役所4階 多目的室

協 力：ゴールドエイジロイヤル名西

参加者：当事者6名 家族6名

内 容：通常の内容に加えて、健康体操やコーヒーボランティアによるコーヒーの提供を行いました。グループホーム利用者の方々にもご参加いただくことができ、認知症当事者の参加人数としては令和7年度で最多となりました。



## (6) 認知症なんて どうってことない 西区おもいやりのまち宣言推進月間

西区では、だれもが認知症を「自分ごと」としてとらえ、認知症になっても誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らすことのできるまちの実現に向け、平成30年3月9日、「認知症なんてどうってことない 西区おもいやりのまち宣言」を区長より宣言しました。

また、令和元年度より、2月10日から3月9日までを「西区おもいやりのまち宣言推進月間」として、懸垂幕掲揚など各種の取り組みを行っています。

今後も宣言の精神を再確認しつつ、西区独自の認知症施策を推進していきます。

### <推進月間中の取り組み>

#### ①認知症講演会「認知症になってもわたしらしく」

実践「タオルを使って楽しく健康体操」の開催

日 時：令和8年2月28日（土）13時00分～14時30分

場 所：西区役所2階 講堂

登壇者：認知症当事者とそのご家族

名古屋市認知症相談支援センター 所長 山口喜樹様

健康運動企画センター 所長 植屋節子様

内 容：認知症と診断された後の実際の日常生活等について当事者とご家族にインタビュー形式でお話いただいた。

参加者：134名



#### ②VR認知症体験会の開催

日 時：令和8年2月28日（土）15時00分～16時30分

協 力：株式会社シルバーウッド

内 容：VRを使用して認知症の諸症状を体験し、  
認知症の人の気持ちを想像する機会となった。

参加者：50名



### ③認知症に関するパネル展示・パンフレット等の配布

実施期間：令和8年2月10日（火）～3月9日（月） 各施設の営業時間中

実施会場：区役所、山田支所、イオンタウン名西、山田地域センター

展示内容：宣言や推進月間の紹介、「あなたにできるワンアクション」の他、チームオレンジやオレンジリング、認知症カフェについてのパネルを展示。

### ④認知症関連動画の放映

放映期間：令和8年2月10日（火）～3月9日（月） 区役所開庁時間中

放映会場：西区役所1階 も～やっこ広場

内 容：

①認知症とともに歩む人のまなざしく～認知症とともに笑顔で生きる～

②西区 認知症&フレイル予防withファイティングイーグルス名古屋



### ⑤ポスター掲出

場 所：区役所・支所、福祉会館、地下鉄駅、図書館、  
スポーツセンター、イオンタウン名西、  
介護施設、高齢者見守り協力事業者 など

### ⑥懸垂幕の掲揚

場 所：区役所・支所

<懸垂幕の文言>

「認知症になっても安心して暮らせるまち

西区おもいやりのまち宣言推進月間」



## 認知症なんて どうってことない 西区おもいやりのまち宣言 ～ ありがとうの数だけ 幸せをも～やっこ ～

西区では、これまで地域住民や西区地域包括ケア推進会議、西区医師会、各種事業所など関係機関の方々とともに積極的に認知症施策の取り組みを進めてきました。今後も更に認知症施策を推進し、認知症当事者とその家族の意見を取り入れることで、「認知症になってもあんしんをも～やっこできるまち・西区」を実現することをめざします。

### 【認知症になっても、尊厳が守られ、自分らしく生きることができます。】

私たちは認知症になっても尊厳が守られ、自分らしく生きていくことができるまちをつくりまします。お互いに嬉しい気持ち、楽しい気持ち、時にはつらい気持ちをも～やっこし、思いやりをもって行動します。

### 【認知症を正しく理解し、住み慣れた地域で安心して生活することができます。】

私たちは認知症についての正しい知識をも～やっこすることで、認知症への誤解や偏見をなくします。子どもから高齢者、異なる立場などにおいてもお互いを知り、支えあうことで、安心して生活することができるまちをつくりまします。

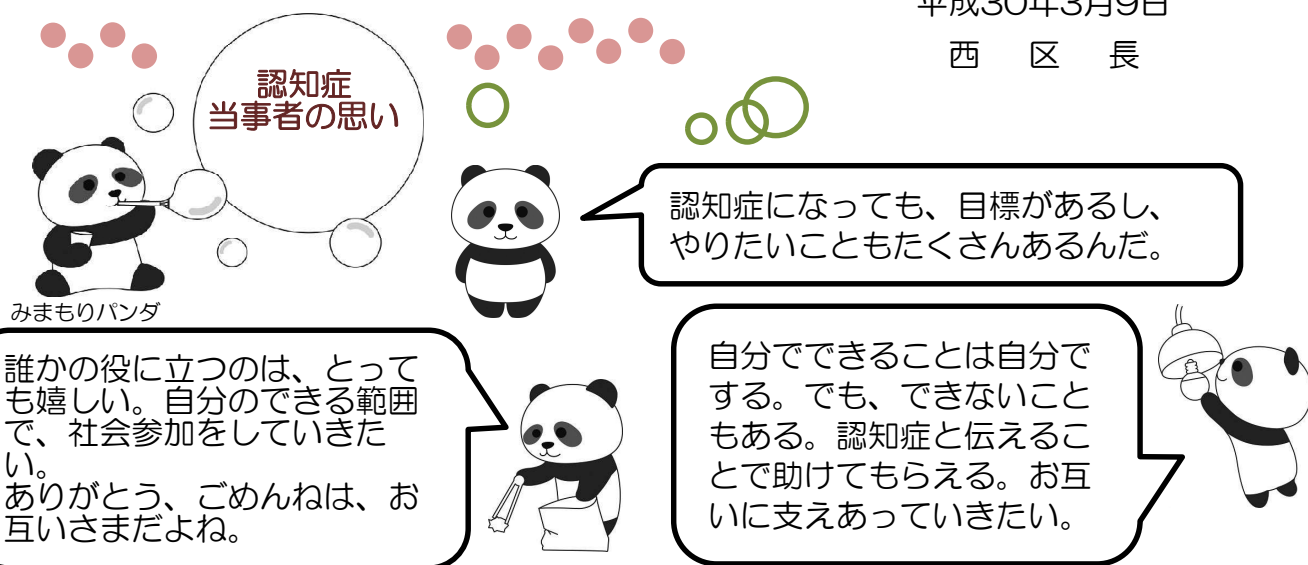
### 【だれもがかけがえのない存在です。】

私たちは認知症になっても目標や生きがいを持ち、地域で役割をもって生きていくことができるまちをつくりまします。私たちは「かけがえのない存在」です。だれもがお互いの思いをも～やっこできる地域づくりをすすめます。

私たちは、だれもが認知症を自分のこととしてとらえ、お互いを支えあうも～やっこの精神をもって認知症の人とその家族を支え、「認知症になってもあんしんをも～やっこできるまち・西区」を実現するために歩いていくことを宣言します。

平成30年3月9日

西 区 長



も～やっことは：「みんなで仲良く分け合う」という意味の名古屋ことばです。会合を意味する「催合い（もやい）」、船と船をつなぎ合わせる「舳い（もやい）」などが原型といわれています。

### 3. フレイル予防の推進

#### 課 題

- ・高齢者が自立した生活を送ることができるよう、自発的・継続的にフレイル予防に取り組むための効果的な普及・啓発を継続する必要があります。
- ・関係機関や地域住民と、地域ごとの課題分析を行うことで、地域に根差したフレイル予防の取組みを推進する必要があります。

#### 取 組

##### (1) も～やっこ健康座談会

「みんなでも～やっこ健康まちカルテ」をもとに、地域住民とともに地域の実情を確認し、「どのような地域にしていきたいか」、「そのためには何が必要か」、などを話し合い、そこでいただいた地域の声から新たな地域交流事業を立ち上げました。

##### ① 枇杷島学区座談会Ⅱ ※昨年度に引き続き2回目の実施

日 時：令和7年5月15日（木）

場 所：枇杷島学区集会所

参加者：枇杷島学区民生委員

内 容：(意見)・買い物をする場所がない

・喫茶店や公園など集まる場所が少ない

・道端に座って休憩できるベンチなどがあるといい

・若い世代や男性の地域参加が少ない

成 果：びわじま介護センターにおける (a) 移動販売会・(b) 衣類即売会

日 時：(a) 令和7年12月5日（金） 10時00分～11時00分

(b) 令和8年 2月5日（木） 14時00分～15時00分

場 所：びわじま介護センター

内 容：販売店をお呼びして、近所の住民及び施設利用者を対象に、

お菓子、果物、日用品、衣類の移動販売を実施。

買い物だけではなく、住民同士や住民と施設利用者との交流の場となった。

参加者：①32名 ②35名



▲座談会



▲移動販売会

## ②大野木学区座談会

日 時：令和8年3月18日（水）

場 所：大野木コミュニティセンター

参加者：大野木学区民生委員・区政協力委員 等

内 容：(意見)

- ・高齢者サロンや子ども食堂など人が多く集まる機会はある。
- ・公園が多くあり、高齢者や子どもが利用している。
- ・町内の近い場所で集える場や買い物できる場があると良い。
- ・地域の行事として多世代交流ができると良い。



## (2) も～やっこ体操サロン出張講座

日 時：令和7年5月23日（金）13時30分～15時30分

※南部いきいき支援センターで月2回定期開催

場 所：西生涯学習センター

内 容：座って行う体操を中心とした

介護予防・認知症予防の体操サロン

講 師：鍼灸師・コグニサイズ指導者 野呂朋洋 氏

参加者：37名



## (3) ウォーキング教室

日 時：令和7年11月18日（月）10時00分～12時00分

場 所：西生涯学習センター

内 容：歩き方や、姿勢などを学び、

歴史・文化を散策しながら街歩き

講 師：キョーフ訪問看護ステーション寄り添い屋

ものづくり文化の道マイスターの会

参加者：16名



#### (4) いきいきメンズ教室

日 時：令和7年5月27日（火）、7月22日（水）、9月24日（水）、11月25日（火）、  
令和8年1月27日（火） 14時00分～15時30分

場 所：北部いきいき支援センター

内 容：体幹を鍛えるストレッチ、発酵食品の活用、  
歯の健康、回想法など

講 師：キョーフ訪問看護リハビリステーション寄り添い屋、  
株式会社ヤクルト、西保健センター（歯科衛生士）、  
天神山福社会館、いきいき支援センター

参加者：延べ41名



#### (5) フレイル予防講演会

日 時：令和7年12月4日（木） 13時30分～15時45分

場 所：西文化小劇場

内 容：フレイルについての概要

体操を取り入れたフレイル予防に関する講義

地域で活躍されている方へのインタビュー

・サロン運営者・フレイル予防リーダー

各機関のフレイル予防に関する活動紹介

・北部いきいき支援センター・南部いきいき支援センター

・社会福祉協議会・天神山福社会館・西保健センター

講 師：日本福祉大学社会福祉総合研修センター 荒深裕規 氏

参加者：62名



## 4. 在宅医療・介護連携

### 課 題

- ・高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、在宅療養に関する相談支援の充実や、在宅療養に係る支援の市民向け周知が必要です。
- ・医療と介護の切れ目のないサービスが提供されるよう、医療・介護関係者間の情報共有や連携体制の更なる整備促進を図る必要があります。

### 取 組

#### 名古屋市はち丸在宅支援センター

名古屋市はち丸在宅支援センターでは、病気を抱えながらご自宅等で生活されている、またはこれから家で生活を続けたいという区民の皆様のご相談に看護師・医療ソーシャルワーカーが応じています。その他、地域住民への在宅療養に関する普及啓発、医療・介護関係者への研修などに取り組んでいます。

#### (1) 在宅療養に関する相談支援

市民が適切な在宅医療・介護のケアを受けることができるよう、市民、医療・介護の多職種、関係機関からの在宅療養に関する相談に対応しています。

【相談件数（西区/全市）】

【相談者内訳（西区/全市）】

対応数	ケース件数	本人	家族	多職種	その他・不明
17/379	15/336	1/71	6/109	7/138	1/18

【西区相談事例】

Q：かかりつけ医からの相談

外来通院していた患者が病院にて小腸がんステージ5と診断され、在宅医療を勧められた。現在、他区の家族宅にて療養中であり、訪問診療可能な医療機関を探してほしい、と相談を受けた。

A：センターより家族へ状況を確認した。その上で、必要な医療処置が対応可能な複数の医療機関の情報を家族へ提供した。家族の自宅から一番近い医療機関を希望されたため、センターにて医療機関と調整し、訪問診療開始となった。

#### (2) 在宅医療・介護資源の把握

医療・介護の多職種の円滑な連携を促進するとともに、市民への相談支援に活用するため、地域の医療・介護資源を把握し、情報を集約・公開しています。

##### ①医療資源調査

令和元年度から医療機関に対しては在宅医療に関する取組み状況等について、訪問

看護ステーション（のうち、新設事業所および移転事業所等）に対しては特別な医療措置等の実施状況や認定看護師の在籍状況等についての調査を行っています。ホームページへの掲載に同意のある医療機関・訪問看護ステーションの調査結果を、当センターホームページの医療資源MAPで公開しています。また、調査結果は在宅療養に関する相談支援の際、情報提供等に活用しています。

(URL : <https://hachimaru.ishikai.nagoya/shigen>)

【医療機関】

項目	西区	全市
調査対象数	103	1,860
MAP公開数	34	587
公開割合	33.0%	31.6%

※調査対象数：名古屋市医師会の会員が所属する医療機関（令和7年4月1日現在）

【訪問看護ステーション】

項目	西区	全市
調査対象数	39	629
MAP公開数	26	422
公開割合	66.7%	67.1%

※調査対象数：愛知県介護保険事業所一覧（令和7年4月1日現在）

②病院窓口調査

病院と在宅療養を支援する多職種の円滑な連携を推進するため、令和7年3月末に当センターホームページで公開した病院窓口情報を更新しています。公開に至っていない病院の窓口情報についても継続して情報を集約する予定です。

③医療機関訪問

医療機関を訪問し、在宅医療に関する実態把握及び当センター機能の周知に取り組んでいます。医師と面会して在宅医療の実態に関する聞き取りを行ったほか、当センターの相談機関としての役割やはち丸ネットワークについて説明しました。訪問による実態把握に至らない場合は、当センターに関する資料を送付するなどの働きかけをしています。今年度からの3か年で対象医療機関に対し働きかけを行います。

**(3) 医療・介護関係者の情報共有の支援**

在宅療養者の支援に係る医療やケアに関する情報を適時多職種間で共有できるよう、ICTツール（はち丸ネットワーク）の利用促進及び機能改修に取り組んでいます。

【表1 はち丸ネットワーク登録状況】

項目	西区	全市
登録患者数	661	13,863
参加施設数	105	2,056

#### (4) 在宅医療・介護連携に関する協議体の設置・運営

地域における在宅医療・介護連携に係る課題を抽出し、課題解決に向けた取組を検討・実施することで、地域に根差した在宅医療・介護連携を推進するため、市および各区において医療・介護の多職種による協議体を設置・運営しています。

##### ①西区在宅医療・介護連携推進会議（年2回）

日 時：令和7年6月18日（水）・令和8年3月12日（木）

内 容：名古屋市在宅医療・介護連携推進事業計画および事業報告

西区在宅医療・介護連携課題協議、取り組み報告

関係機関からの情報提供



##### ②西区多職種研修会

近年の災害の頻発化に伴い、地域全体の災害時対応力強化を図るため研修会を開催しました。発災時における多職種間での正確な情報共有のため、それぞれの役割を理解し、何をどこに共有すべきか協議する機会となりました。

日 時：令和7年11月13日（木）14時～16時

テーマ：災害時の情報共有

講 師：名古屋市保健所西保健センター 所長 田邊裕氏

参加者：34名



#### (5) 在宅療養に関する普及啓発の実施

在宅療養に関する知識や当センターの役割等について、地域の高齢者サロン等にて出張講座や地域のイベントに参加し、普及啓発を行いました。

##### 【全市開催実績】

- ・出張講座の開催 : 43回（809名参加）
- ・地域イベントへの参加：12回（パンフレット1,601部、しおり1,061部配布）

##### 【西区出張講座開催実績】

開催日	開催場所	団体名等	参加者数
9/13	山田コミュニティセンター	山田学区民生委員・児童委員協議会	13人
10/7	市営平田荘集会所	認知症カフェ「うきの茶房」	35人
10/15	枇杷島学区集会所	枇杷島学区民生委員児童委員協議会	15人
10/20	大野木コミュニティセンター	三丁目おしゃべりサロン	23人
10/29	西区役所講堂	民生委員・児童委員協議会	18人
12/17	栄生コミュニティセンター	栄生学区民生委員児童委員協議会	13人
3/17	幅下コミュニティセンター	幅下学区民生委員児童委員協議会	12人

## いきいき支援センターの取り組みをご覧ください！

認知症家族教室などのいきいき支援センター主催事業の予定や活動実績、家でできる体操の動画などをご紹介します。ぜひご覧ください。

○西区北部いきいき支援センター

<https://www.facebook.com/nishikunorth>



○西区南部いきいき支援センター

<https://www.nishiku-shakyo.jp/ikiiki.html>



### 令和7年度 西区地域包括ケア推進事業報告書

#### 問合せ

西区北部いきいき支援センター	Tel.052-505-8343	FAX 052-505-8345
西区南部いきいき支援センター	Tel.052-532-9079	FAX 052-532-9020
// 分室	Tel.052-562-5775	FAX 052-562-5776
西区社会福祉協議会	Tel.052-532-9076	FAX 052-532-9082
名古屋市はち丸在宅支援センター	Tel.052-971-0874	FAX 052-971-0875
西保健センター保健予防課	Tel.052-523-4619	FAX 052-531-2000
西区役所福祉部福祉課	Tel.052-523-4595	FAX 052-521-0067